

令和7年度 大分市中体連新人体育大会 軟式野球 大会要項

1. 期日 令和7年10月1日(水)・10月2日(木)・10月3日(金) ≪予備日6日(月)、7日(火)≫

2. 会場 クラサスS・別大興産S・多目的グラウンドA

3. 競技日程 第1日(10/1) 9:00試合開始 クラサスS・多目的A・別大興産S
第2日(10/2) 9:00試合開始 クラサスS・別大興産S
第3日(10/3) 9:00試合開始 別大興産S

※雨天順延の連絡は、各校理事を通して行います。

4. 競技方法 トーナメント戦とする。(別紙記載) 4チーム優勝

※本大会における上位8チームを県新人大会に出場とする。

※県新人トーナメント表決定に際しての順位決定については、優勝4チームの抽選で確定する。それ以外の県体出場チームは、1位チームに敗退したチームが5位、2位チームに敗退したチームが6位、以下同様に7位、8位を決定する。

ただし、雨天等で日程消化できない場合は、県新人出場校の代表者(教員)による抽選で順位決定とする。

5. 競技規則及び細則

(ア) 2025年度公認軟式野球規則及び本大会規則(下記(テ)参照)により行う。

(イ) 試合は7回戦で行う。

(ウ) コールドゲームは5回以降で得点差が7点以上、もしくは3回以降で10点差以上の時に適用する。(決勝戦も適用する。)

(エ) 7回終了時点で同点の場合は、特別延長戦(タイブレーク)を下記の要領で行う。

※特別延長戦(タイブレーク)の方法

(a)前のイニングで最後の打者から順次一塁走者、二塁走者として、無死1,2塁の状態次打者(前のイニングの継続打順)の攻撃から開始する。後攻側も同じ条件で攻撃を行い、得点の多い方を勝ちとする。なお、1イニングで得点差が出ない場合も、順次継続打順で行う。

(b)特別延長戦は決着がつくまで行う。

(オ) ベンチは、トーナメント表の左側のチームを一塁側とする。試合中は、校長・部長・監督・部活動指導員・コーチ(学校長が認めた者)・背番号をつけた選手、記録員以外の者のベンチ入りは禁止する。(部長・コーチもユニホームか平服、記録員は制服に帽子かユニホームとする)

(カ) 試合中、選手以外はタイム時以外ダッグアウトよりグラウンドに出てはいけない。

(キ) 試合前のシートノックは行わない。

(ク) 審判へのアピールは、監督または主将、当該プレイヤーに限る。

(ケ) オーダー交換は、前試合の4回終了時に主将同士で行う。(第1試合は40分前)

(コ) 試合球は公認ナガセケンコーボールM号球を使用。※本場で準備

(サ) 背番号は原則としてポジション順とする。監督もユニホーム着用のこと(試合前のサイドノック等、グラウンド内では必ずユニホームを着用する)。【主将は10番、監督は30番、コーチは29、28とする。】

(シ) リストバンド・バットリング、打撃用手首サポーターの使用は禁止する。

(ス) 手袋の着用を認める。ただし、黒と白の無地のもの。

(セ) 捕手(補助捕手を含む)は、スロートガード付マスク・ヘルメット・プロテクター・レガース・ファウルカップを着けること。守備前の投球練習の際も同様とする。打者、走者、ランナーコーチともに、ヘルメットを着用すること。

(ソ) 安全面より一体型カラーソックスは禁止する。ストッキングはチーム内で統一(ミドルとローカットが混在しないように)する。

- (タ) ラフプレーが生じた場合は厳しく指導する。
- (チ) 暗黒、降雨（雷・雷雨）などで、試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合でも、また5回を過ぎて正式試合になって同点で試合が中止の場合でも原則として再試合にしないで翌日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。（軟式野球連盟の大会及び県総体要項に準ずる）
- (ツ) 中学生野球にふさわしい態度でプレー、応援すること。
- (テ) 2025年度軟式野球規則及び本大会における特別規則において主なものは以下の通りである。
 - (a) 申告敬遠あり。
 - (b) タイムの回数制限（捕手を含む内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数を3度以内とする。なお、タイムブレイクとなった場合は、1イニングに1度行くことができる。）攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、タイムブレイクは、1イニングに1回とする。
 - (c) 投手は、軸足をプレート上に置き、捕手のサインを見る。
 - (d) 打者は、バッターボックスをはずさずにベンチのサインを見る。
 - (e) 攻守交代の時、捕手が準備できていない場合は、替わりの選手がピッチング練習を受ける。
 - (f) ランナーコーチは円陣に入らず、プレーボールがかかる前にボックスに入ること。
 - (g) 攻守交替は駆け足で行うこと。
 - (h) 投手の遅延行為（野球規則 5.07C：12秒・20秒ルール）を適用する。
 - (i) 投手の球数制限は1日100球とする。
- (ト) 試合前に、本部、審判団立会のもと、用具点検と服装チェックを実施する。
- (ナ) 今大会、給水タイムは設けないものとする。
- (ハ) DH制またはEH制の使用を認める。

6. 周知徹底事項

- (ア) 会場の美化に努め、弁当や飲み物等のゴミは各チームで持ち帰るようにしてください。
- (イ) 各校間でのトラブルが生じないよう徹底した指導をしてください。尚、試合会場における悪質・粗暴な行為については、各学校・チームで適切に対応してください。
- (ウ) 応援用の横断幕は、スタンドフェンスのグラウンド側ではなく観客席側につける。
- (エ) スタンドや客席にテント等は張らない。
- (オ) 試合中の球場内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。
 - ※控え選手の素振りスペースを確保するため、守備時に自チーム側の次打者席を使用することを認める。
 - ただし、素振りスペースの確保されている別大興産スタジアムは除く。
- (カ) 試合前の球場内の打撃練習に関しては、テニスボールやカラーボール等、怪我のリスクが少ない球を使用するのであれば、許可する。ただし、打者は土の部分からの打撃をすること。※九州大会からは、試合に使用しないボールなどの持ち込みは禁止
- (キ) 相手チームへの「やじ」「走った」「ゴー」等のアンフェアな声掛けを禁止する。
- (ク) リストガード、アームスリーブ、テーピングなどは、医療目的の使用であれば許可する。ただし、オーダー交換時に同席させ、本部・相手監督の許可を得ること。
- (ケ) 会場までの選手移動については、十分な配慮をお願いします。自転車を利用する場合は、安全指導・交通マナーの徹底をお願いします（ヘルメットの着用など）。万一、事故が発生した場合は、会場責任者（会場校長）→部長へ直ちに報告・連絡を行ってください。

7. 雨天時の対応について

- 朝5:30に判断し、部長・副部長より各顧問へ連絡いたしますので、各会場の責任者は集合をお願いします。